

『人口ピラミッド』と『データ』で見る『市町村の姿』

新規掲載にあたり

「少子化」「高齢化」が話題となり、国、地方において、各種の対策・施策が取り組まれ始めてから、既に30年近くが経過しております。

しかしながら、少子化によって生じることが予想される『人口減少』、『生産年齢人口(労働力)減少』、『再生産年齢人口(若年女性)減少』、そして、高齢化によって生じる『年金問題』『医療費問題』『介護(経費、人材、システム等)問題』等について、まだ、根本的な解決策が実施され、明確な将来の姿が示されているとは思えない状況ではないでしょうか？

また、問題が重く大きいこともあってか、まだ部分的な報道や話題にとどまっており、一般の方々には、他人事と受け止められているのでは、とも思われます。

私どもでは、3年前から、『少子・高齢化』問題を身近な形で知っていただき、一緒に考えていただきたいと考え、NPO 法人を立ち上げ、ホームページ「地域・知恵の輪」に、各市町村の年齢構成の変化を示す『人口ピラミッド』などの資料を掲載し、取り組み等の提案を行ってまいりました。

これらの情報については、開設・掲載以来今日まで、かなり多くの方々にご覧いただいております。多くの方が関心をお持ちの問題であることを再認識していたところであります。

ところで、これまで掲載(『人口ピラミッド』の掲載はまだ一部の団体)してまいりました各市町村の将来人口予測につきましては、国立社会保障・人口問題研究所が平成15年(2003)12月に公表されたデータに基づいておりましたが、昨年3月平成22年(2010)国調に基づく第2回目の『市町村別推計人口』が発表されましたのを機に、私どもでは、情報を一新することとし、作業を進めてまいりました。

このたび、ようやくその第1段階として、全市町村及び特別区、並びに一部指定市区毎の55年間(1985～2040年：国調及び推計人口)にわたる『人口ピラミッド』と『少子・高齢化に関する人口関係データ』の掲載を行うことができました。

何分、大量のデータを限られた人手でという状況での作業でしたので、行き届かない点もございますが、データを身近な問題として感じていただき、関心を持っていただければ、幸いといたすところでございます。

私どもでは、引き続き、皆様方が考え、知恵を巡らせ、具体的な取り組みをしていただけるよう、

- ・お住まいの地域が、全国の動きの中でどのような位置にあるのか(順位等)、

- ・それぞれ似通った団体(類似団体)等と比較してどうか、
- ・暮らしや仕事(通勤)で関係する近隣都市(都市圏)との関係はどうか、
といった視点からの情報を順次掲載するとともに、関係団体の皆様同士の知恵の持ち寄りや情報交換ができる『情報ネット』や『情報プラットホーム』の構築・提供にも、取り組んでまいりたいと思っております。

この問題は、冒頭でも述べましたように、私たちにとって、非常に重く、大きい問題ですし、避けて通ることができない問題でもあります。

また、簡単に取り組み・解決できる問題でもありませんので、政治や行政に委ねるだけではなく、社会全体が一体となって取り組むことが必要と思われま
すし、最終的には、その地域地域の置かれた環境と状況に対応した、対策と結果を目指すこととなるのではないかと思います。

つまり、長寿社会の中で、それぞれの地域の『人口ピラミッド』が正常な世代構成によって構築され、持続可能な地域として存続していくためには、皆様ご自身が、どのような地域づくりを目指すのか、という点にかかっているのではないのでしょうか。

そして、取り組みを充実させ、目指す目標を達成するためには、他の地域の、他の団体の取り組みや成果、事例等の情報を参考とし、意見を交換することが必要となるのではないのでしょうか。

私どもは、皆様方のそのような取り組みのお手伝いできれば…という思いを持って、取り組んでまいりたいと考えておりますので、趣旨をご理解いただき、ご意見、ご協力等いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

NPO 法人『地域・知恵の輪』

理事長 池 松 勝 年